

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

健康保険課

補助金等の名称	佐倉市後期高齢者医療人間ドック助成金						
予算科目	一般会計	款	3	項	1	目	1
予算事業名	後期高齢者人間ドック助成事業						
実施計画の位置づけ	医療費の適正化に向け、予防医療の一環として健康診査を実施する						
補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし・広域連合					1,237 千円	
交付先	個人又は指定医療機関						
支出根拠規定	佐倉市後期高齢者医療人間ドック助成金交付要綱						
補助の目的	後期高齢者医療被保険者の健康管理及び増進の一助とするとともに、医療費適正化の推進に資することを目的とする。						
補助の効果	人間ドック助成事業を動機に受診者が増加し、それによる適切な健康管理や疾病の早期発見・早期治療等が期待される。また、健康への意識が高められることにより、疾病予防等による医療費削減効果が期待できる。						
補助対象事業の 具体的内容	佐倉市の後期高齢者医療被保険者が、助成対象検査項目を満たす人間ドックを受検した場合に、当該検査に係る費用の一部を助成する。						
対象経費及び補助率	(期 間) 4月1日～翌年3月31日(年度内 1人1回) (対象経費) 要綱に定める助成対象検査項目を含む人間ドックに対する経費とする。 (補 助 率) 経費の2分の1以内の額とし、10,000円を限度とする。 この場合において、2分の1の額が10,000円以内であって、端数が生じる時は、1,000円未満を切り捨てるものとする。						
補助金額の根拠	現行要綱の助成金額を参照とする。 (佐倉市国民健康保険人間ドック助成金と同様)						
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 その他 ・「補助の状況」について 千葉県後期高齢者医療広域連合から、「長寿・健康増進事業補助金」として上記の金額が交付されているほか、短期人間ドック受診者については健診を受診したものと見なして、「平成31年度後期高齢者健康診査委託料」として4,402,924円を広域連合から受領している。						
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日						

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	健康保険課	
補助金等の名称		佐倉市後期高齢者医療人間ドック助成金		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	2,750	助成利用者数 275人	3,206	助成利用者数 321人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	平成28年1月より、助成対象として脳ドックも含めたため、被保険者の健康へのさらなる意識向上と医療費削減のため、引き続き当事業を継続していきたい。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	4,130	助成利用者数 413人	4,366	助成利用者数 438人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	脳ドックも助成の対象としていることが市民に浸透してきたこともあり、利用件数が大幅に上昇した。被保険者の健康へのさらなる意識向上と医療費削減のため、引き続き当事業を継続していきたい。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	4,910	助成利用者数 491人	4,490	助成利用者数 451人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	被保険者の健康へのさらなる意識向上と医療費削減のため、引き続き当事業を継続していきたい。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	6,600	助成利用者数 660人	5,068	助成利用者数 508人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	人間ドック、脳ドックともに被保険者の増加に伴って利用者数も増加している。被保険者の健康へのさらなる意識向上と医療費削減のため、引き続き当事業を継続していきたい。			
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	7,400	助成利用者数 740人	5,630	助成利用者数 564人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	人間ドック、脳ドックともに被保険者の増加に伴って利用者数も増加している。被保険者の健康へのさらなる意識向上と医療費削減のため、引き続き当事業を継続していきたい。			
計画期間終了後の最終的な目標値		後期高齢者被保険者数の3.0%を目標値とする。		
計画期間終了後の最終的な成果値		令和元年度末の被保険者数は26,432人、助成利用者数は565人のため、2.1%の利用率だったので目標値である3%には届かなかった。		